

3月9日 CVV 定例会議事要旨

日時：2023年3月9日(木) 午後5時半から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者 (順不同・敬称略)：22名 (会員・会友 リモート参加を含む)

古田・川谷・野坂・清水・祝・鈴木・夏秋・吉岡・田中・石原・武・今岡・下土居・

荒武・栗田・大井・齋木・福岡・先本・友廣・古川・黒山

オブザーバー参加：地盤工学会関西支部 松永氏、小瀬川氏

舞鶴高専 嶋田氏

<配布資料>

- ① 1月26日定例会議事要旨 (黒山)
- ② 地盤工学会関西支部 第13回若手セミナー 『私と地盤とのかかわり』開催報告 (松永氏)
- ③ KOSEN-REIM説明資料、REIM産学連携コンソーシアム規約 (嶋田氏)
- ④ 「CVV な男たち・女たち」パンフレットの配布先案 (吉岡)
- ⑤ 技術継承「2022年度の取組み」および「2023年度の活動計画(案)」(吉岡)
- ⑥ CVV な男たち女たちについての意見・感想
- ⑦ 地盤工学会関西支部「若手セミナー」担当幹事との交流会 (黒山)
- ⑧ 2023年度いきいき活動教育財団申込みチラシ案 (鈴木)
- ⑨ CVV 選奨土木遺産見学会特別講演会「産業遺産の楽しみ方と活かし方」開催報告 (栗田)
- ⑩ 2023年度選奨土木遺産調査企画(案) (栗田)、幻の大仏鉄道・遺構めぐりマップ (南荘)
- ⑪ CV用語辞典および関連資料3種類 (今岡)

<主な議事>

代表の挨拶に続き新加入の古川さんから挨拶があった。その後黒山が資料確認した。

1. 地盤工学会関西支部幹事の松永氏から今年度の「若手セミナー」が報告された。(資料②)
2. 舞鶴高専嶋田氏から次年度の「KOSEN-REIM」の取り組み内容と協力要請がなされた。また、REIM産学連携コンソーシアム構想の説明があり協力要請された。(資料③)
 - ✓ CVVは任意団体でコンソーシアムの他団体と異なり、CVVに求められる役割が果たせるのかという疑問を持った。(川谷)
 - ✓ 資料にある各地域の教育推進協議会とは。(古田)
 - 高専が中心となって設立した産官学の連携団体で特に法人格があるものではない。先本さんが当初からかかわっている。地域連携を進めたいとの趣旨である。(嶋田氏)
 - ✓ どのような仕組み、目的なのか。(今岡)
 - 地域の若手技術者の教育プログラムの構築とベテラン技術者が教育者となれる仕組みづくりが二つの柱である。(嶋田氏)
3. 技術継承の取り組みに関して今年度の報告と次年度の計画が紹介された。(吉岡 資料④～⑦)
 - ✓ 資料④のパンフレット配布先が承認された。なお、送り状作成が必要。
 - ✓ 資料⑦の内容を黒山から報告した。また、松永氏が補足説明した。
 - ✓ 資料⑤に基づいて2023年度の活用計画の説明があった。その後の質疑は以下のとおり。
 - ✓ CVVの特性(緩く実施)も尊重すべき。学会も取り組んでいるがうまくいっているとは言えない。今の活動は順調だと考えるがボランティア活動なので直接的な成果を求めなくてもよい

のでは。(古田)

- ✓ 小学校向けの防災講座など過去の活動も参考とすべきかも。(吉岡)
→教育委員会の意向もあるので難しいのでは。(川谷)
 - ✓ 地盤工学会の取り組みも参考としたい。(吉岡)
 - ✓ 若手の定義や範囲、若手の意向、若手の期待の検討も大事。若手が求めることが不明なので本音の議論が必要。(古田)
 - ✓ 新設構造物が少なくなり維持管理が中心、デジタル化の進展などの時代背景との関係も重要な視点。(鈴木)
 - ✓ 学生見学会の開催も可能となるかもしれないのでそういった場も活用したい。(川谷)
4. いきいき活動橋の模型づくりに関して、次年度用の財団申込みチラシが紹介され確認された。関係財団と協議し具体的に進めたい。(鈴木 資料⑧)
- ✓ 父母の評価も高いのでは。お母さん方の評価が高ければ土木への印象もよくなるのでは。(祝、友廣、栗田)
 - ✓ 前畑氏とのコラボの件はその後動きがないが、あれば具体的に相談したい。(鈴木)
5. 12月13日開催の土木・産業遺産見学会のときの講演会開催報告がなされた。(資料⑨) また、次年度の選奨土木遺産調査企画案が紹介された。(資料⑩) (栗田)
- ✓ 大仏鉄道は土木遺産ではなく、地元自治体が広く広報し結構知られた存在なので CVV が調査する価値は低いのでは。また、商業ツアーもある。奈良県の土木遺産は広く分布しているが他の調査対象があるのでは。小森氏との懇談は意義深いと思う。(清水)
 - ✓ 様々な意見があるので担当者で協議いただきたい。(川谷)
6. 建設関係の古語・瀕死語等の調査試行が示され、今後の取り組み方針を協議した。(今岡、川谷 資料⑪)
- ✓ 近畿建設協会が整備局からの委託により業務で取り組んだ。その成果をフォローアップするのは整備局から喜ばれると思う。(先本)
 - ✓ 過去の技術、技能を調べてまとめる方が有意義ではないか。(栗田)
 - ✓ 調査・整理の目的を明確にする必要がある。(今岡)
 - ✓ CVV ホームページの活用は困難。その他の手法 (LINE、FB など) のほうがよいのでは。(田中)
 - ✓ チャット方式だと誰がまとめるのが課題。(栗田)
 - ✓ 文化的な側面の価値はあると思うが若手への技術伝承としての直接的意義は薄いのではないか。(清水)
7. その他
- ✓ 新会員 (原 稔明氏、武内隆文氏、高田嘉秀氏) の入会申請があり承認された。
 - ✓ 福岡さんが退会の挨拶をされた。なお、会友として参加される。
 - ✓ 次回は5月30日に開催し、定例会前に総会を実施する。